

平成 29 年度理事会（総会）議事録

日時：平成 29 年 1 月 22 日（日） 13 時～16 時

場所：クーポール会館 7 階会議室

出席者：定数 80 名のうち 出席 60 名 委任状 17 通 2/3 以上出席（成立宣言）

高木会長挨拶

あけましておめでとうございます。本年もよろしく協力をお願いします。

国体で良い成績を上げていただけるよう皆さんにお願いをしたいと思います。今のところ、ソフトテニスはたくさんある種目のなかで下位にランクにされています。なんとかこれをもう少し上の位置にしていきたいと思っています。本日も色々議題がありますがスムーズに皆さんの協力をもって行いたいと思いますのでよろしくお願いします。

1. 平成 28 年度事業報告（落合理事長）

理事会資料に基づき平成 28 年度事業報告全般を説明。

- ・県連主催の大会については、神奈川との対抗戦は雨で中止となったが、そのほかの大会は予定どおり実施することができた。
- ・平成 28 年 11 月に東海シングルスが花川でおこなわれ、浜松市協会の協力のもと無事終了することができた。
- ・オール静岡の強化練習が 8 月 13 日に草薙で行われヨネックスの選手を講師として 2 名招き実施された。
- ・小学生の強化練習では、技術向上にとっても有意義であった。大会でも良い成績を収めている。
- ・中学生や高校生、Step 2 の強化練習では、監督やコーチ、関係者の皆さんには自分の時間を犠牲にしながらやっていただき非常にありがたかった。
- ・一般が満足いく成績が収められていない。これから強化を通じて頑張っていきたい。
- ・競技者育成プログラムでは、富士川第二中の浦田選手が Step 4 まで選考された。
- ・ヨネックスソフトテニスキッズアカデミーについては、今年初めて開催をした。4 才から 10 才程度のキッズが 75 名集まり、遠くは山梨や東京からの参加者もあった。2 回目については皆様の意見を聞いて検討していきたいと思っている。
- ・レディースの練習会は東部中部西部で年 3 回行われている。
- ・指導者育成では、今一番重点をおいているのは指導者の育成である。技術的な指導と合わせて色々なマナーの問題があるため、マナーについても向上を図っていきたい。
- ・公認スポーツ指導員養成講習会は 3 年に一度程度開催しており、今回実施された。39 名の受講者があり全員合格した。今年から技術等級の検定も行い本人へ通知済みである。また、技術等級の申請をしてもらうよう連絡をしてある。
- ・会員登録について 平成 27 年度と平成 28 年度比較をすると 300 人ほど減っているが、この 300 人は中学生が減っているためである。
- ・大会の記録では、全国大会についてはベテラン勢が非常に良い成績を収めてくれている。小学生もよい成績をだしてくれた。
- ・大会成績の修正変更

【平成 28 年度大会記録】

P6 (追加)	7 第 20 回東海シニア選手権大会	男子 80	1 位	増田・寺沢 (芙蓉・静岡)
P7 (修正)	15 第 43 回全日本レディース個人戦大会	ゆり	<u>2 位</u>	高園・金原 (岐阜・さぎの宮)
P7 (修正)	19 第 38 回全日本レディース決勝大会			<u>(植田・上田・村松・折笠・永田・嶋・板垣・深澤・山田・高塚)</u>
P12 (修正)	11 第 69 回静岡県中学校総合体育大会	男子団体	<u>1 位</u>	鹿玉中 <u>2 位</u> 清竜中
		女子団体	<u>1 位</u>	清竜中

そのほか、全日本ランキング、県ランキング等についても訂正があれば事務局へ報告をお願いします。

2. 平成 28 年度収支決算報告 (落合理事長)

理事会資料「平成 28 年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明した。

<主な増減>

- ・指導者講習会関係収入は指導者研修会を中止し、代わりにスポーツ指導員講習会を実施した。
- ・補助金収入減はソフトテニス週間の 10 万円の収入が遅れ、12 月の入金のため平成 29 年度会計へ計上した。
- ・国民体育大会関係費の減は、本大会に 2 種目の予算計上をしたが、1 種目になったため減った。
- ・西日本小学生予選は、コート代が、想定より高かったため、増加した。

3. 平成 28 年度収支決算監査報告 (榛葉監事)

12 月 11 日に掛川の「さんりーな」にて理事長や事務局長、漆畑副事務局長の立ち会いのもと監査を実施した。監査結果について、非常に出入金、帳簿類が誠実、正確、的確に処理されていたことの報告があった。

<事業報告、収支決算報告について、承認された。>

高木会長 (コメント)

東海シングルスへの県下選手参加が少ない。練習だけでは強くなれないので、多くの参加を望みます。

4. 平成 29 年度静岡県連盟事業計画 (案) 提案 (落合理事長)

(1) 平成 29 年度日本ソフトテニス連盟事業計画について (報告)

- ・全日本社会人選手権大会…シニア 45 男女へ移行を検討している。(平成 30 年度に実施予定で検討。草薙と花川の予定)
- ・日本スポーツマスターズ…3 日間から 2 日間開催に変更を検討している。(平成 29 年度から実施予定)
- ・ゼッケンの着用…「特太ゴシック体」から「ゴシック体 (太文字)」に変更。(改めて作り直す必要は無い。)
- ・技術等級基準の改定…支部 (県) 中学選手権大会 3 級が 64 本→32 本へと変更。地区予選 3 級が 32 本→16 本に変更

(2) 東日本ソフトテニス連盟総会報告

現在、東日本選手権大会は全種目、同じ日で開催しているが会場確保難しく、一般・成年とシニアを別会場、別日時開催を検討する。

(3) 東海ソフトテニス連盟総会報告

- ・小学生大会で小学生の技術向上やダブル後衛が多くなっているため、ラリーが長く時間がかかっている状態である。東海の小学生大会について予選リーグは5回ゲームとして、準決勝・決勝は7回ゲームとし、ベンチコーチを廃止する。県連はどうかは小学生委員会で検討する。

(4) 平成 29 年度県連盟事業計画（案）提案（落合理事長）

- ・理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明した。
- ・平成 29 年度に花川で国体の東海ブロックを行う予定である。地元で審判をやらなければならないため審判が問題となっている。一般だけでは難しいため、中体連高体連の先生方にも前回同様審判に協力をいただきたい。また、浜松市協会だけでなく大変であるため中部東部からもしっかりできる審判を派遣したいと思っている。
- ・平成 30 年に全日本社会人選手権大会が静岡県で開催されるため、予算関係や競技役員の選考、静岡県をはじめ浜松市体育協会や静岡市体育協会、各関係団体との調整を図り早急に準備委員会を立ち上げて準備に入りたいと思っている。平成 29 年の全日本社会人選手権大会を浜松や静岡の役員の方に事前視察をしてもらう予定でいる。
- ・平成 31 年から平成 33 年に西日本小学生選手権大会が静岡の伊東の小室山で開催予定である。伊東市長には話は通っているが、各課長、部長さんにはまだ話が通っていないため、打ち合わせに行きたいと思っている。
- ・大会時においては、審判員長による指導を実施し審判の資質向上を図るため、直接指導を実施していく。
- ・オール静岡の強化練習（小中高）を毎年 8 月にやっているが年 1 回だけではだめという意見がだされている。東部中部西部の各連絡議会で調整し協議して、各地区で実施をする方向で検討していきたい。
- ・平成 29 年度の県中学生選手権大会の協会別の参加枠について、会員登録数によって枠数を変えている。各協会に 2 ペアを割り振り、残りを会員登録数の比例配分とする。前年度の実績でベスト 4 に入賞した協会にはそれぞれ + 1 とする。
- ・国体少年男女の県の予選会大会要項について一部変更する。
1 次予選から 2 次予選に一次予選上位 4 ペアを推薦していたが、一次予選の 1・2 位のペアと強化委員会推薦の 4 名に変更したい。
- ・毎年 2 月に開催されている小学生の強化練習会を今年は 2 月 4 日（土）に静岡市中央体育館で行われる。今回はヨネックスの選手を招き、静岡県の国体の代表選手も招いて行うこととなっている。今まで県連主催の行事としてやってきたが、今年度から小学生部会が主催して費用も小学生部会が持つことになった。
- ・平成 28 年 12 月にソフトテニス連盟の事務所を開設した。この事務所には常駐する人はいない。大会申込みは FAX ではなくメールでお願いしたい。FAX で送る場合は電話連絡をお願いしたい。大会時の持ち物は、主管の団体が新事務所から持ち運びをして準備する。
事務局担当を置くことを検討している。（プログラム作成や印刷など）

【新事務所】 〒422-8034 静岡市駿河高松 1 9 1 1 - 1

電話 054-374-0704 FAX054-374-0806 メール shizusta@na.commufa.jp

・事務所開設に伴い、静岡県ソフトテニス連盟規約の変更を行う。

【変更前】（事務所）第4条 本連盟は、事務所を事務局長の居住地に置く。

【変更後】（事務所）第4条 本連盟は、事務所を静岡市駿河区高松 1911-1に置く。

5. 平成 29 年度収支予算（案）提案（落合理事長）

理事会資料により平成 29 年度収支予算案の概要を説明した。

<概要>

- ・収入支出予算は平成 28 年度の実績をもとに計上した。
- ・東海地区の大会が国体の東海ブロック大会があるため予算計上した。
- ・全日本社会人、西日本小学生の視察のための旅費を増額した。
- ・事務所の費用を管理費用に計上した。

平成 28 年 12 月から平成 29 年 11 月までの家賃や電気料金等を含めて概算費用を計上した。

本年度から新規計上のため、不足分等があったら予備費から流用としたい。

<事業計画、予算（案）について、承認された。>

6. 平成 29 年・30 年度役員改選（小林役員選考委員長）

11 月 26 日開催の委員会において、次期役員の選考結果を小林役員選考委員長から下記の通り報告があった。

会 長 鷲頭典利

副 会 長 佐野忠幸・市川博・市川広邦・足立真一・小野康弘・坪井正信・市川雅子

理 事 長 落合敏男

副理事長 杉山登子・小林正・伊藤公祐・長谷川裕巳・高橋一・清隼人・渡瀬義正・片山さとみ

幹 事 村田吉昭・松浦和彦・栗山桂

名誉会長 高木安一郎

顧 問 岩本義久・佐野正和・榛葉正志・鈴木敏幸

常任理事及び理事については、各協会でもめていただき事務局に報告をお願いしたい。

3 月の常任理事会で各専門委員会の委員の案をだして承認をもらいたいため、各協会（団体）役員の常任理事及び理事が決定したら、その名簿と各協会（団体）の三役の名前、住所、携帯番号、メールアドレスを県連の新しいメールアドレスへ報告をお願いしたい。

7. 平成 29 年度大会日程の調整

- ・西日本小学生選手権大会の日程変更 10 月 14・15 日→10 月 28・29 日へ変更
- ・山静小学生対抗戦大会の会場変更 山梨県→富士市へ変更

8. その他

- ・毎年 2 月に開催されているスポーツ指導員研修会を平成 29 年 2 月の研修会から（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者資格更新（29 年度以降の更新者）のための義務研修の対象事業となり、静岡県体育協会が開催する研修と同様の扱い対象となった。

【質問・意見等】

①意見

十数年前に日連の方針で 45 歳以下の種目をソフトテニスの競技種目とし、45 歳以上はソフトテニスを楽しむ生涯スポーツとする方針がだされ、現在でもその方針は続いていると思います。ここへきて静岡県のソフトテニスの大方針として、小中学生の技術向上のために競技スポーツとしての発展も必要ですし、大勢の人にソフトテニスを楽しんでもらうことの普及も大事ですが、やはり生涯スポーツとしてのソフトテニスにももう少し力をいれてもらいたい。

県連をサポートしているシニアの方も多く、生涯スポーツとして楽しんでやっている大会への支援や年代を広げて歳の多い人たちでもテニスをやめないでやれる限り続けていけるソフトテニスへの普及と配慮を県連の事業として力を入れて支援をしてもらえればと思う。〈岩本副会長〉

②お願い

平成 29 年 8 月に中学生の東海総体、平成 32 年には全国総体が開催されます。こちらにも助成をお願いします。〈中体連小野副会長〉

③質問

日連からソフトテニス週間の実施に対する補助金がおりにきているが、県で何をしているか見えてこなかったのでも聞かせて欲しい。〈沼津市協会村中〉

各協会でもソフトテニスの日として事業をやっていた計画書報告書を提出してもらい、日連に報告して補助金 10 万円をいただいているのが現実である。10 万円は強化費等に充てている。(平成 28 年度は雨だったため、浜松市だけソフトテニスの日としての事業がおこなわれた。) 〈鈴木敏幸事務長・落合理事長〉

④質問

メールでの大会申込みについて、県連の大会は PC での申込みなので良いが、3 月にある県地区対抗戦は FAX での申込みとなっている。FAX に振り込みの紙を添付して送信という県連からの指示だが今後どのようにするのか。〈富士宮市協会の助野〉

申込み様式の変更を検討していく。〈落合理事長〉

閉会挨拶

長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。意見があれば活発に議論をし、決まったことは、みんなで協力していきたい。

理事会終了後、28年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。